

事例1：チェックリストを利用して、自らの保育を見直す

<p>1. 実施方法</p>	<p>【1回目のチェック実施】 園内研修として実施。</p> <p>(1) 人権擁護のためのチェックリストを職員分準備し、チェックリストの趣旨を主任保育士が説明。全員でチェックリスト読み合わせた後、<u>各自でチェックを行う。</u></p> <p>(2) チェック後に、<u>チェックを行っての率直な感想を全職員に話してもらう。チェック項目を意識して保育していこうと、全職員で共通理解した。</u></p> <p>【2回目のチェック実施】 園内研修として実施。</p> <p>(1) 全職員で <u>2度目のチェック</u>を行う。</p> <p>(2) 各自で A4 用紙に、チェックリストの「<u>振り返りシート</u>」の内容および「<u>1回目と2回目のチェックの間で、子どもとかかわるときの気持ちに変化があったか</u>」を記入してもらい、主任保育士に提出（氏名記入は自由）。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1回目と2回目のチェックの間で、子どもとかかわるときの気持ちに変化があったかの回答抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 悪気なく、言っていたこと、していたことのなかに、「良くないと考えられるかわり」がいくつかあった。良いかかわりを意識して保育していきたい。 ➢ 一人ひとりをより大切に保育しようと思った。 ➢ 子どもたちにとって安心できる場所になれるようにしていきたいと感じた。 ➢ あらためて子どもの立場になって考えるようになった。子どもの立場に立った保育をしていきたい。 ➢ 子どもの人権やチェックリストの内容について、職員間で会話の話題になり、自らの思いを話すことができるようになった。 </div>
<p>2. 実施による変化</p>	<p>【個人の変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでも常に人権への意識は持っていたが、<u>これまでの子どもへのかかわりについて、今一度振り返る機会を持つ事ができた。</u> ○ 私自身が男性保育士であるため、力の加減も踏まえ、よりこのことについて思い、かかわっていききたい。 <p>【組織としての変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チェック結果の全体共有は実施しなかったが、チェックリスト実施後、前までこんなこと言ってたな、昔こんなことしたことあったな等、<u>自身の振り返りをする会話がさまざまな場面で聞かれた。</u> ○ 園全体として、<u>人権への意識が高まった。</u>
<p>3. 実施者の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども側に立った目線、保育士側になっていた目線、チェック項目を噛みしめて読むたびに、反省しなければいけない点が見えて、保育士として人として自身を振り返る大切な機会となった。保育を長年経験するなかでわかってきたこと、又、<u>その経験から過信が生まれ、疎かにしてしまいがちなこと等、保育の経験年数を問わず、技術ではなく、人としての礎の部分を見直すことができた。</u>